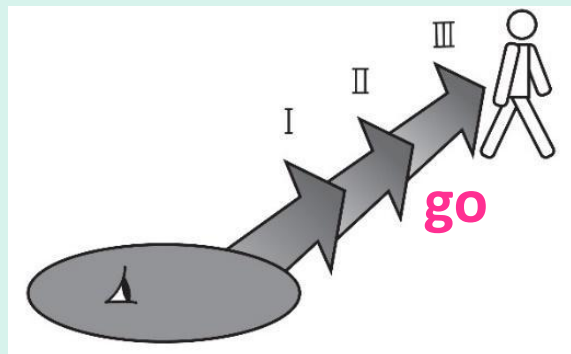


< 基本動詞 > GOの世界

How's everything going?

CORE IMAGE

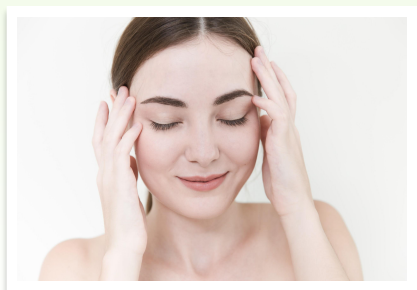


(視点が置かれている
ところから)離れていく



go は「行く」という意味ですが、「頭痛が消えた」というのを **My headache has gone.** と go を使って表現します。「頭痛が行った」といえば、どこに行ったんだろう、と考えたりします。

go のコアは、「(視点が置かれているところから)離れていく」というものです。視点が置かれた地点から離れるということです。



My headache has **gone.**

頭痛が消えた

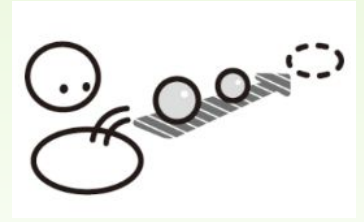
例えば論文などの進み具合を尋ねて、**How's your paper going along?** とともに How's your paper coming along? とも言いますが、書き始めに視点があれば go が、終わりに視点があれば come がぴったりです。



How's your paper **going** along?

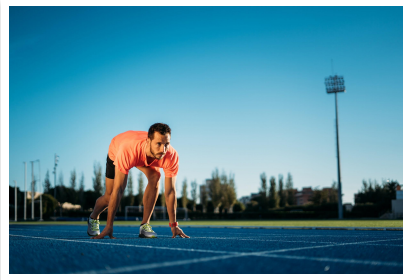
論文の進み具合はどうですか？

go のコアは**あるところから離れて行く**ということですが、(1)場から離れるという部分と、(2)進行している(動いている)という部分と、そして(3)あるところに向かうという部分の3つを考えることができます。そして、そのどれを強調するかで、go のさまざまな用法が出てくるのです。



例えば、先ほどの **My headache has gone.** は「場から離れる」の例です。

「位置について、よーい、どん」も **On your marks, set, go!** と言いますが、この go も飛び出す感じがでています。「このしみが消えない」という場合も **This stain won't go.** と言いますが、これも「場から離れる」部分が強調された表現です。



On your marks, set, **go!**

位置について、よーい、どん



This stain won't **go.**

このしみが消えない

次に「進行している(進行中である)」ということを強調する表現に、**He's going too fast.** 「(マラソンなどで)ちょっと飛ばしすぎた」があります。「どんな調子ですか」の意で使う日常表現に **How's everything going?** がありますが、これも物事の進み具合を尋ねている表現です。



He's **going** too fast.

(マラソンなどで)ちょっと飛ばしすぎた



How's everything **going**?

どんな調子ですか

そして、「あるところに向かう」とは行き先を示すということです。 **She went to the station.** (彼女は駅に行った)は典型例です。野球で **Going, going, gone!** は「大きい、大きい、入りました」という意味ですが、Going, going は進行している状態を、そして gone は過去分詞なので行き先まで到達したということを表しています。 **go wrong** (間違う)や **go mad** (怒り心頭に発する)なども「あるところ(この場合はある状態)に向かう」というケースです。go には **He went swimming in the river.** (彼は川泳ぎに行った) といった表現があります。これも「川で泳ぐという行為に向かう」ということから「川泳ぎに行く」という意味になるわけです。



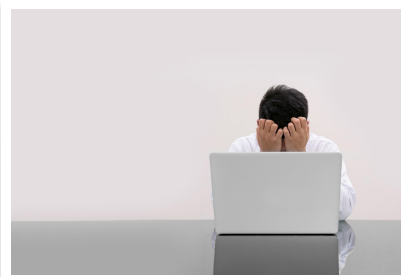
She **went** to the station.

彼女は駅に行った



Going, going, gone!

大きい、大きい、入りました



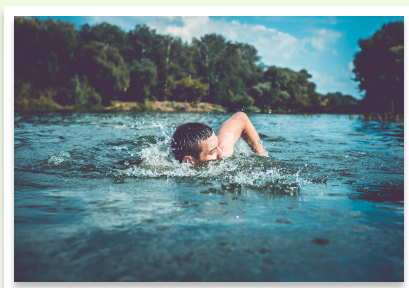
go wrong

間違う



go mad

怒り心頭に発する



He **went** swimming in the river.

彼は川泳ぎに行った

「視点が置かれたところから離れる」というコアと3つの焦点を念頭において go を捉えることが大切です。「売り尽くしセール」で **Everything must go.** という看板を見かけることがありますが、「ここにある商品が全部ここから出て行く」ということで、「離れる」の部分が強調された表現です。



Everything must **go.**

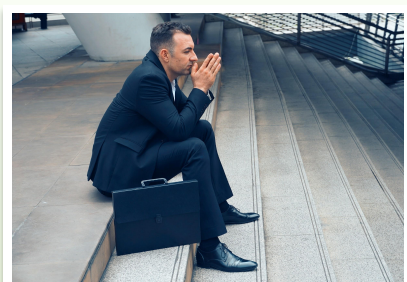
売り尽くしセール

This tie goes with your jacket. (このネクタイはお客様のジャケットに合います) は、go の進行の部分を強調した表現でネクタイとジャケットがともに移動する(合っている)ということです。**If something goes wrong, I'll get fired.** は日本語にすれば「ひとつ間違えば、ぼくはクビだ」ということですが、**go wrong** は「あるところに向かう」の部分が強調された表現だといえます。



This tie **goes** with your jacket.

このネクタイはお客様のジャケットに合います



If something **goes** wrong, I'll get fired.

ひとつ間違えば、ぼくはクビだ